



株主の皆さまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年3月期連結決算におきましては、抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」が胃がんや食道がんを中心に使用が拡大するとともに、糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」なども引き続き堅調に推移しました。

また、ロイヤルティ収入も引き続き増加し、通期決算で5期連続の増収増益を達成することができました。

当社は企業理念「病氣と苦痛に対する人間の闘いのために」のもと、積極的な研究開発投資を進め、世界最先端のアカデミアやベンチャー企業と提携して新薬の創製に取り組むことで、パイプラインの拡充に努めております。また、欧米での自社製品の販売を目指して体制構築を進めるなど、さらなる成長を目指して、全社一丸となって取り組んでいるところです。

私たちは、一人でも多くの患者さんに革新的な医薬品をお届けできるよう、たゆまぬ挑戦を続けてまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 相良 暁

営業の概況・予想（連結IFRS）／利益還元方針

財務ハイライト（連結）

売上収益

4,472億円

前期比 **23.8%**増

営業利益

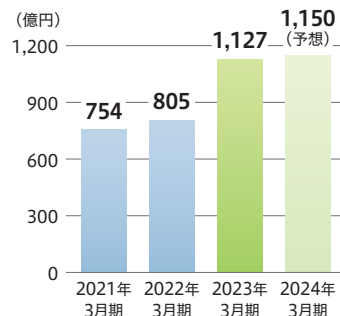
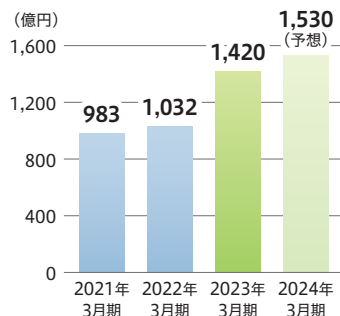
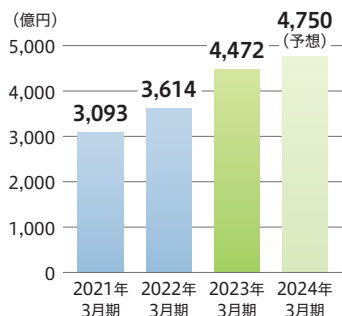
1,420億円

前期比 **37.6%**増

親会社の所有者に
帰属する当期利益

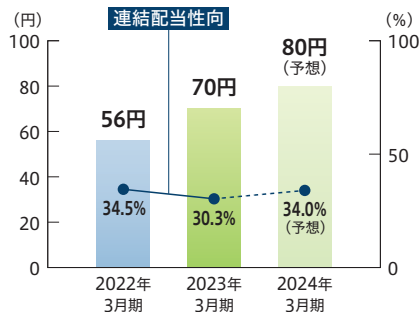
1,127億円

前期比 **40.0%**増



利益還元方針について

〈年間配当実績と次期予想〉



株主の皆さまへの当期の期末配当金につきましては、1株につき37円とさせていただきます。これにより、年間にお支払いする配当金は、中間配当33円と合わせて1株につき70円となります。次期の配当金につきましては、1株につき80円（中間40円、期末40円）を予定しています。



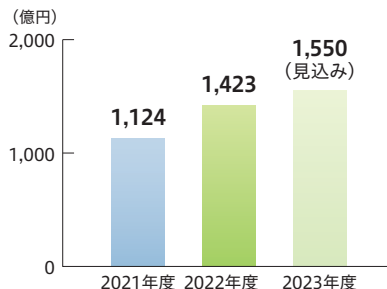
オブジーボが引き続き伸長

抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、胃がんや食道がん領域での使用が拡大し、2022年度の売上収益は



前年度比26.6%増の1,423億円となりました。2023年度におきましても、さらなる成長を見込んでいます。

〈オブジーボ 売上収益推移〉



フォーシーガなどその他の主要製品が堅調に推移

糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォーシーガ錠」、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」なども堅調に伸長しました。

なお、フォーシーガについては2023年1月より、慢性心不全の患者さんの使用できる範囲が広がり、左室駆出率を問わず慢性心不全の患者さんの治療薬として使用いただけるようになりました。

主な製品の売上収益と次期売上収益の見込み

製品名	2022年度 売上収益(実績) (億円)	対前期 増減率	2023年度 売上収益(見込み) (億円)	対前期 増減率
フォーシーガ錠	565	54.3%	650	15.0%
オレンシア皮下注	248	8.1%	255	3.0%
グラクティブ錠	225	△8.3%	210	△6.7%
カイクロリス点滴静注用	87	4.0%	85	△2.3%
パーサビブ静注透析用	84	△5.3%	80	△4.8%
ベレキシブル錠	85	36.2%	95	11.3%
オンジェンティス錠	50	72.9%	65	30.5%
オノアクト点滴静注用	45	△7.9%	45	0.4%
ピラフトビカプセル	32	18.2%	40	23.2%
メクトビ錠	25	13.4%	30	18.1%

開発品の主な進捗状況

開発品の主な進捗状況

(2023年4月25日現在)

★「オブジーボ」との併用試験

※がん領域の開発品において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しています。

■ がん領域の主な進捗状況

製品名/開発コード/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
オブジーボ点滴静注	注射	悪性中皮腫(悪性胸膜中皮腫を除く)	■				日本
		肝細胞がん	■				日本・韓国
		卵巣がん	■				日本・韓国・台湾
		膀胱がん	■				日本・韓国・台湾
		前立腺がん	■				日本・韓国・台湾
ヤーボイ点滴静注液*	注射	胃がん	■				日本・韓国・台湾
		尿路上皮がん	■				日本・韓国・台湾
		肝細胞がん	■				日本・韓国
ONO-7913/Magrolimab	注射	TP53変異陽性急性骨髄性白血病	■				日本
		急性骨髄性白血病	■				韓国・台湾
		膵がん*	■				日本
		結腸・直腸がん*	■				日本
		固形がん	■				日本
		骨髄異形成症候群	■				日本
ピラフトビカプセル	カプセル	甲状腺がん	■				日本

製品名／開発コード／一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
メクトビ錠	錠	甲状腺がん	■	■			日本
ONO-4686*	注射	固形がん	■	■			日本
ONO-4482*/Relatlimab	注射	悪性黒色腫	■	■			日本
ONO-7475	錠	固形がん*	■				日本
		EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺がん	■				日本
ONO-4578	錠	結腸・直腸がん*	■				日本
		膵がん*	■				日本
		非小細胞肺がん*	■				日本
		固形がん・胃がん*	■				日本
		ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん	■				日本
ONO-7119*/Atamparib	錠	固形がん	■				日本
ONO-7122*	注射	固形がん	■				日本
ONO-7914*	注射	固形がん	■				日本
ONO-4059	錠	中枢神経系原発リンパ腫	■	■			米国
ONO-4685	注射	T細胞リンパ腫	■				米国
ONO-7018	錠	非ホジキンリンパ腫、慢性リンパ性白血病	■				米国

開発品の主な進捗状況

■ がん領域以外の主な進捗状況

製品名／開発コード／一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
ベレキシブル錠	錠	天疱瘡					日本
ONO-2017/Cenobamate	錠	てんかん強直間代発作					日本
		てんかん部分発作					日本
ONO-2910	錠	糖尿病性多発神経障害					日本
ONO-2808	錠	神経変性疾患					日本・欧州
ONO-4685	注射	自己免疫疾患					日本・欧州
ONO-7684	錠	血栓症					日本・欧州
ONO-2020	錠	神経変性疾患					米国
ONO-1110	経口	疼痛					日本

TOPICS

ライセンス活動

昨年12月、Equillum社(米国)と、同社が保有するファーストインクラスの抗CD6抗体「itolizumab」について、独占的オプション権付アセット買収契約を締結しました。

itolizumabは、現在、海外で急性移植片対宿主病(aGVHD)を対象に第III相試験、ループス腎炎を対象に第Ib相試験が進められています。

当社は、オプション権を行使後、米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドで適応症にかかわらずitolizumabを商業化する権利を取得します。今回の契約締結により、免疫領域における研究開発を強化し、革新的な治療薬の創出を目指します。

提携活動

当社は、世界の有望なアカデミアやベンチャー企業などと研究開発で協働するオープンイノベーションを生命線と位置づけ、提携活動を積極的に進めています。

■ 提携契約実績(2022年度)

	提携先企業・大学(所在国)	提携内容
2022年4月	Domain Therapeutics(仏) Montréal大学(カナダ)	代謝性疾患領域におけるGタンパク質共役受容体(GPCR)を標的とした新規の低分子化合物の創製を目的とした創薬提携契約
6月	Fate Therapeutics(米)	固形がんに対するiPS細胞由来CAR-T細胞およびCAR-NK細胞療法の提携を拡大
8月	ナレッジパレット(日本)	データ駆動型の新薬創出基盤の構築を目的とする共同研究を拡大する契約
11月	Memo Therapeutics(スイス)	がん免疫領域における抗体医薬品を創製するための創薬提携契約
	Fate Therapeutics(米)	固形がんに対するiPS細胞由来のHER2 CAR-T細胞療法に関して創薬提携契約のオプション権を行使
	Captor Therapeutics(ポーランド)	神経変性疾患領域におけるタンパク質分解誘導低分子医薬品を創製するための創薬提携契約
12月	PrecisionLife(英)	複数の治療標的などの同定に関する共同研究開発契約
2023年1月	Monash大学(豪)	自己免疫疾患および炎症性疾患領域における抗GPCR抗体を創製するためのオプション権付き研究提携契約
	KSQ Therapeutics(米)	同社が保有するがん領域における複数の創薬プログラム取得に関する契約
2月	Cue Biopharma(米)	二重特異性融合タンパク質「CUE-401」に関するオプション契約および提携契約
3月	ペプチドリーム(日本)	特殊環状ペプチド医薬品の創製に関する創薬提携契約
	MOLCURE(日本)	AI創薬プラットフォーム技術を活用した複数の標的に対する抗体医薬品の創製に関する創薬提携契約
	Macomics(英)	腫瘍免疫領域においてマクロファージの新規標的を対象とした抗体医薬品の創製に関する創薬提携契約

環境への取り組み

■ 新たな中長期環境目標を設定

2023年3月、持続可能な社会の実現に向けて環境への取り組みを強化すべく、2019年に策定した中長期環境ビジョン「ECO VISION 2050」の目標を見直しました。

【見直しのポイント】

- ✓ 自社の温室効果ガス排出量をゼロにする時期を、2050年度から2035年度へ前倒し
- ✓ 自社のカーボンニュートラルを2025年度までに達成
- ✓ 2017年度比で、2030年度の自社事業所での水使用量増加率を売上成長率以下にする
- ✓ 水質汚染リスク管理および取引先のリスク管理を強化する
- ✓ 2030年度までに研究所、工場での全不要物の再資源化率を80%以上にする
- ✓ 2030年度までに当社製品の個装箱に使われる紙をすべて環境配慮素材とする

詳細に関しては、当社ウェブサイトのサステナビリティページをご覧ください

<https://sustainability.ono-pharma.com/ja/themes/106>



■ CDP2022「気候変動」「水セキュリティ」の2分野で 最高評価Aリストに選定

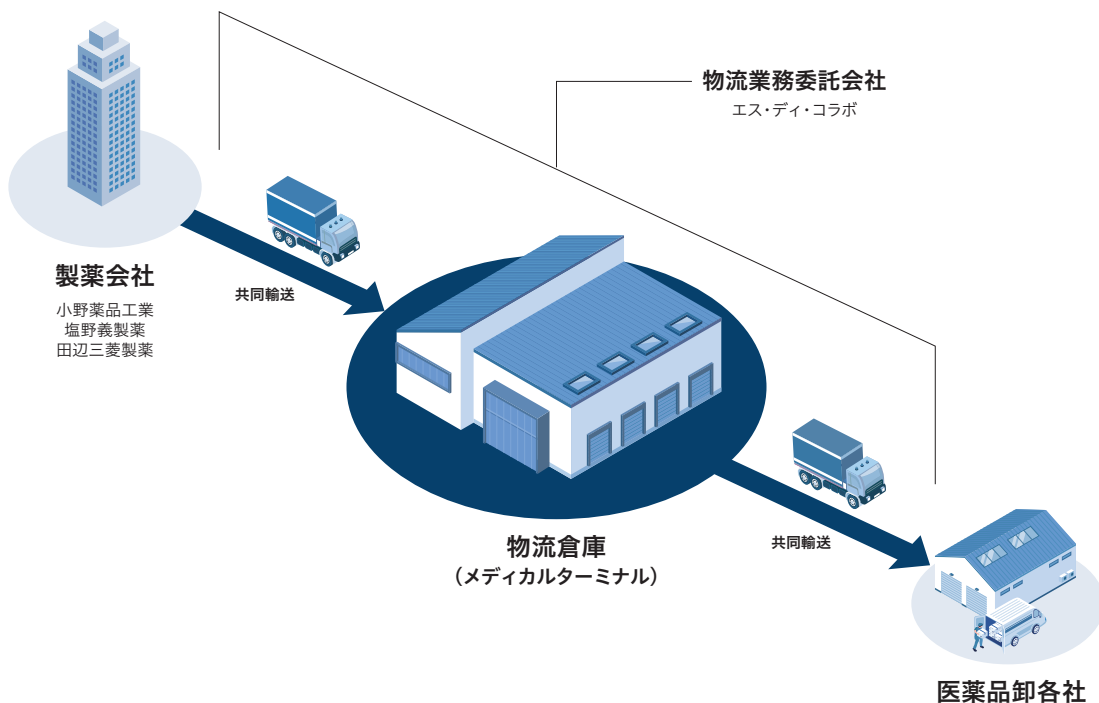
国際環境非営利団体であるCDPより、気候変動および水セキュリティに対する対策が評価され、CDP2022「気候変動」および「水セキュリティ」の2分野で、権威あるAリストに選定されました。「気候変動」では、5年連続のAリスト選定、「水セキュリティ」では、2年連続のAリスト選定となります。



■ 国内で医療用医薬品の共同輸送を開始

2023年1月より、当社は塩野義製薬株式会社、田辺三菱製薬株式会社、株式会社エス・ディ・コロボと、医療用医薬品を共同輸送する取り組みを始めました。

医薬品物流においては、輸送・保管過程において厳格な品質の担保および流通過程の完全性が求められます。今回の共同輸送では温度管理を含む品質の担保の向上を図るとともに、運行台数の削減によるCO₂排出量削減のほか、運送ドライバーの人手不足や高齢化といった課題の解決にもつなげます。



会社の概要

会社概要

(2023年3月31日現在)

社名	小野薬品工業株式会社
英文社名	ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
創業	享保2年(1717年)
設立	昭和22年(1947年)
資本金	17,358,275,607円
事業内容	医療用医薬品を主体とする各種医薬品の研究、開発、製造、仕入および販売
従業員数	3,761名(連結) 3,381名(単体)
株式数	発行可能株式総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 517,425,200株 (自己株式29,025,954株を含む)

主要な事業所

(2023年3月31日現在)

本社	〒541-8564 大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号 電話 06-6263-5670 〔登記簿上の本店所在地 大阪市中央区道修町二丁目1番5号〕
事業所	札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、京都、 大阪、高松、広島、福岡ほか全国主要都市
工場等	フジヤマ工場(静岡県)、山口工場(山口県)、 城東製品開発センター(大阪府)
研究所	水無瀬研究所(大阪府)、 筑波研究所(茨城県)
海外子会社	オノ・ファーマ・ユーエスエー インク(米国マサチューセッツ州) オノ・ファーマ・ユーケー・リミテッド(英国ロンドン) 韓国小野薬品工業株式会社(韓国ソウル) 台湾小野薬品工業股份有限公司(台湾台北)

役員

(2023年6月22日現在)

代表取締役 取締役社長	相良 暁
取締役 専務執行役員	辻中 聡 浩
取締役 専務執行役員	滝野 十一
取締役 常務執行役員	出光 清 昭
社外取締役	野村 雅 男
社外取締役	奥野 明 子
社外取締役	長 榮 周 作
常勤監査役	西村 勝 義
常勤監査役	谷坂 裕 信
社外監査役	菱山 泰 男
社外監査役	田辺 彰 子



本社ビル(大阪市中央区)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会	6月中	および特別口座	三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会・期末配当：3月31日 中間配当：9月30日	の口座管理機関	
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故 その他やむを得ない事由により電子公 告をすることができない場合は、日本 経済新聞に掲載いたします。 公告を掲載するホームページのアドレス https://www.ono-pharma.com/ja	株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード4528)	事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
		および	
		各種お問合せ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
		同 取 次 窓 口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様のマイナンバーにつきましては、お取引の証券会社等へお届出ください。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、株主様のマイナンバーは支払調書に記載して税務署へ提出いたします。

■ マイナンバーを記載する主な支払調書

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問合せ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問合せください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
下記のフリーダイヤルまでお問合せください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

新CM放映開始



2023年4月より、新CM『新薬で未来をつくる』篇の放映を開始しました。

今回のCMでは、新しい薬が生まれることで
誰かの笑顔が生まれ、希望が生まれ、たくさんのかげがえのない未来をつくりだすという、
新薬をつくることの本質的な価値を表現しています。



CM特設サイト、公式YouTubeをご覧ください



◀ CM特設サイト



◀ 公式YouTube



ホームページアドレス
<https://www.ono-pharma.com/ja>

UD
FONT

2023.06